

跳び出そう、
いま。



島で、山で、「東京」を学ぶ。

総合的フィールドワーク

しまなび 
△ やまなび
TMU

島を、山を、キャンパスに、「人間力」を磨く。この大学ならではのプログラム。

東京の「しま」「やま」などをキャンパスに、学外での体験型プログラムを通して「自然と社会と文化」を学ぶ、多角的な視点から総合的な理解力とコミュニケーションのスキルを高める、それが総合的フィールドワーク【しまなび・やまなび】です。

【しまなび・やまなび】とは

- 学外で見聞し、観察・調査するという自らの体験を通して学ぶ、宿泊型短期集中講義です。
- 伊豆諸島から小笠原諸島の島しょ地域や、青梅、奥多摩、御岳山などの海洋・火山・森林といった多様性に満ちた自然環境をもつ東京都の全域をキャンパスとしてとらえます。そして学問的な領域を超えた全学的な教育と研究を行います。
- 人文・法学・経営・理学・工学・都市環境・健康福祉の各分野から教員が参加し、指導します。

【しまなび・やまなび】に参加すると

- 学内では味わえない魅力あるカリキュラムを通して、一度に多くの分野をコンパクトに学べます。
- 町長、村長はじめ現場で活躍する方々とのコミュニケーションを通し、社会との強い接点を得られます。
- 単位として認定されます。



島ことばから生命誕生まで専門分野を横断して学習する
アカデミックダイバーシティ

漁師から神主まで現地の方々の話を聞き、議論する
レジデント型学習

しまなび△やまなび
生き活き学習

先輩や他学部の学生、留学生、大学院生と入り交じる
ヒューマンダイバーシティ

町・都・国やNGO・NPO・地域専門家と連携する
コオペレーション授業

その場で、自ら学び、考え、行動する
アクティブラーニング

しまなび△やまなびが「生きる力」を強くする。参加者が成長を実感できるプログラムです。

受講生からの声



大自然！人間の温かみを感じられる。これが東京というのがうらやましい！

自然と社会と文化・小笠原コース受講 人文・社会系3年 阿部友美子さん

意見の違いはショッキング！

よかったと思えることはたくさんあります。まず、同じ年代でも学部が違う人たちと行動を共にし、議論をしたことで考え方の違いに気がつくことができました。人の数だけ考えがあり、それは違う分野の勉強をしている人同士だと、より顕著になる。当然ですが、実際に意見の違いを感じるのは結構ショックでした。さまざまな立場の人が

いて意見の違いがあるから、争いやいざこざが起こるのだとわかったことは、かなりの収穫でした。

小笠原のすばらしさを伝えたい！

行く前は小笠原に飛行場を造ればいいと思っていましたが、今は簡単には決められないと感じています。自然や文化、経済に大きな影響があるかもしれない。おがさわら丸の感動的なお見送りの文化も廃れてしまうかもしれない。小

笠原ならではの多様な歴史や文化、生物を守ることは日本にとって大切なこと。小笠原の開発にはもっと議論が必要だと感じています。

あんなに大自然があって、人間の温かみを感じられるのに、東京というのがうらやましい。これからはいろいろな人に小笠原のすばらしさをわかってもらえるよう、この経験や感動を広めていきたいと思っています。

島に、山に、大学から学外に「まなび」のフィールドを広げています。

しまなび△やまなび

首都大学東京の教養科目として履修できます。

自然と社会と文化	
伊豆大島コース (2泊3日)	三原山登山から火山の成立や生活への影響を学ぶ。夜はウコの発生の観察。町長との対談や特別養護老人ホームの入居者との対話など。
八丈島コース (3泊4日)	工芸品や特産品の生産現場を訪ねる。戦争遺跡の見学と討論。風力・地熱発電所を見学し、自然エネルギーの開発と利用を考える。
小笠原コース (3泊4日、船中2泊)	複雑な歴史と特徴のある文化。ここにしかない貴重な生態系など、世界遺産であるにも関わらず、知られていないことが多い小笠原を学ぶ。

- 山域である奥多摩（青梅・御岳山）コースも予定しています。
- 人文・社会、理工学、都市環境、システムデザイン、健康福祉など複数の学部・学系から、教員、ステューデントアシスタントが同行します。

授業科目の枠を超え、プログラムを拡充しています。

社会人野外講座	伊豆諸島・小笠原や奥多摩などで、自然と文化・歴史を学ぶ。大学が行う生涯教育の充実に大きく貢献。平均満足度 96.8 点。
高・大連携プログラム	中学・高校の教員を志望する学生が伊豆大島の高校などでインターンシップを行う。
留学生・国際交流プログラム	留学生と日本人学生が夕食をともにし、議論し、相互理解を深める。留学生は島・山の豊かな自然と社会に触れ、日本をより深く理解する。



新たなフィールドへ、 踏み出せた！

教養科目「自然と社会と文化」
受講生の声

この授業に
満足！

2010年実施のアンケートで
85%以上の受講生が「満足」
「後輩に受講を勧め
たい」と回答

伊豆大島コース

一言で言えば「得な」経験。
工場の見学や町長さんとう
など普通の観光ではできない
ことがたくさんあり、多くの
ことを学べた。
(人文・社会系 1年 女子 ゆみ)

小笠原コース

南洋踊りの歌、小笠原フラの
歌が耳から離れなくて、内地
に戻ってきてからもずっと歌っ
ている。時間がゆっくり流れ、
心が穏やかになっていく。
(人文・社会系 1年 女子 よっちゃん)

八丈島コース

普段なら話しかけない人たち
にも話しかけてみたら、思い
のほか話が弾み、楽しかった。
人の話を聞く力、自分の意見
をもつ力がついたように思う。
(インダストリアルアートコース
1年 男子 まっすー)

八丈島コース

島という一つの環境を通じて、
学問が日常生活に密接に関係
していて、そのほとんどが研
究対象になることを、実際の
体験から学ぶことができた。
(機械工学 1年 男子 ホリ)

伊豆大島コース

総合大学に入ったのだから、
いろいろな人と議論を交わし
たかった。議論は想像以上に
盛り上がり、これからの大学
生活にも自信がついた。
(機械工学 1年 男子 とも)

八丈島コース

先生との距離が近い。ラン
プで勝ったら舌打ちされるな
んで、ほかでは経験できない
だろう。他人と意見交換する
ことが怖くなくなった。
(経営学系 2年 男子 いじりー)

小笠原コース

小笠原の自然や歴史、文化な
ど、事前に学習して文字や写
真で知った知識が、実習を通
じて自分の経験になっていく。
それが他の授業と大きく違う。
(機械工学 1年 男子 りょうちゃん)

小笠原コース

固有の動植物を見るのが目的
だったが、現地の文化は予想
以上に興味深かった。複数の
テーマを体験することで、小
笠原を心から楽しめたと思う。
(生命科学 1年 女子 みっちゃん)

伊豆大島コース

特別養護老人ホームでの体験
と夜の討論会は刺激的だった。
看護を志す者としてとても勉
強になった。1年の夏休みに
貴重な体験ができてよかった。
(看護学科 1年 女子 めく)

伊豆大島コース

違う学部の人だけでなく先生
と対等に議論できる。さらに
すごいのは帰りの船の中でも
討論が続いたこと。だからレ
ポートを書くのも少し楽しい。
(建築都市 3年 男子 ゆう)

全学的・分野横断型学習プログラム

しまなび△やまなび 教育研究チーム

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

首都大学東京大学院理工学研究科内 しまなび・やまなび教育研究チーム

Phone:042-677-2578 Fax:042-677-2559

URL: <http://www.tmu-edu-pjt.jp>

E-Mail: island@tmu.ac.jp



●このパンフレットは
環境に配慮した用紙を
使用しています。